Trip 1

レトロなプチトリップ
美味しい！と
世界遺産巡り

明治日本の
産業革命遺産

下田エリア

関吉の疎水溝

せきよしのそすいこう

集成館を支えたパワフル水力！

鹿児島市下田町 1263 先　TEL 099-227-1940
（鹿児島市教育委員会文化財課）　見学自由

苔むす岩が織り成す絶景水路

集成館事業を推進した島津斉彬。高炉や鑽開台（さんかいだい）（大砲の砲身に弾を通す穴を開ける装置）の稼働には多大な水力が必要だったため、嘉永5年（1852）に関吉の疎水溝を整備。江戸時代初期に農業用水用として生まれたものを改修・整備し、稲荷川・関吉から仙巌園まで約7kmの水路を完成させた。高低差わずか8mのところ、当時の土木技術を結集し、18か所のトンネルも手掘りしたという。通路に沿って歩き、自然美と職人の技術が調和した絶景を眺めよう！

ランチはココで

Véli・Voli matsuda

ベリ・ボリ　マツダ

季節感あふれるコース料理

シェフ夫妻のもてなしが心地よいフレンチレストラン。昼・夜ともに内容おまかせのコースを数段階用意し、地元産食材や季節の食材をたっぷり盛り込む料理を提供。ソムリエ厳選のワインも。

鹿児島市吉野町 3263-6　TEL 099-244-7887
（前日までの完全予約制）　営11:30～14:30、18:30～22:00　日曜、祝日休

（右）吉野町の高台、緑に囲まれた店舗。
（下）ランチコース3800円からメインの一例。

吉野エリア

寺山炭窯跡

てらやますみがまあと

最高1500度！反射炉の熱源は炭だった

鹿児島市吉野町 10710-68 TEL 099-227-1940（鹿児島市教育委員会文化財課）見学自由
※写真は災害復旧前の様子

高炉・反射炉・薩摩切子製造の燃料が誕生

集成館事業のひとつ・反射炉を稼働させて鉄を溶かすためには、燃料の木炭（白炭）が必要だった。島津斉彬は紀州熊野に藩士を派遣して炭焼きの技術を学ばせ、木炭の材料となるシイやカシが豊富な寺山に巨大な炭窯を作った。凝灰岩を積み上げた全体の高さは約3m、直径約5～6mと当時の炭窯としては国内最大級で、1500度の高熱にも耐えられたという。現在残る1基の炭窯跡を訪ね、レトロなアーチ形の窯口門やカーブを描く石積みから、幕末のエネルギーをリアルに感じ取ってみて。

景色ごといただきます

（左）スパイシーファクトリーバーガー1300円。
（下）ダイナミックな景色も人気の理由。

ランチはココで

Factory

ファクトリー

目の前に錦江湾と桜島が広がるオーシャンビューカフェ。地元産の肉や野菜を使い、ソースやパティまで手作りするハンバーガーが人気。1点ずつ個性のある照明や家具にも注目を。

鹿児島市吉野町 9679-10　TEL 099-295-0609
営11:00～19:00　不定休